

平成26年12月30日
福祉保健部健康増進課感染症担当
電話 055-223-1494
FAX 055-223-1499
(内線3511~3515)

報道関係者各位

高齢者介護施設における感染性胃腸炎の集団発生について

平成26年12月29日(月)、中北保健所管内の高齢者介護施設において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け調査、指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別 高齢者介護施設

発症者の状況 利用者 10名 (70歳代~90歳代男女、うち1名死亡)
職員 2名 (20歳代~30歳代女性) 死因と感染の関係は不明
計 12名

主な症状:嘔吐、下痢、発熱

発症状況

	12/27	12/28	12/29	12/30	計
利用者	2	3	4	1	10
職員	0	2	0	0	2

(発症者は死亡した1名を除き全員快方に向かっています)

調査・指導結果

発症者6名(利用者5名、職員1名)の検便を実施したところ、利用者5名からノロウイルスが検出された。

中北保健所では、検便結果及び発生状況から、食中毒ではなく施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、2次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、利用者・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

本日の報道対応は19時30分までとさせていただきます。